



センターニュースをお読みの皆様へ

今年4月にようやく国の補助金対象の決定があり、私が平成7年に島田療育センターに赴任してからの夢であった病棟の新築工事が、秋から本格的に着工の予定となりました。長い道のりでしたが、まずはこの夢の実現をみんなで喜びたいと思います。入所している方、家族の方々、また職員一同みんなで力を合わせて、この新築工事の期間を乗り越えていきましょう。

今度の工事に際しては、新しい病院・施設としての機能の充実はもちろんですが、災害対策にも力を入れて計画を進めています。3年がかりの大工事になりますが、出来上がった新しい島田療育センターを楽しみに前進していきましょう。



名誉院長
木実谷 哲史

書籍紹介

発達障害や身体障害のある子どもへの摂食嚥下サポート

この程、発達障害や身体障害のある子どもへの摂食嚥下におけるサポートの仕方をあらゆる方向から解説した書籍「発達障害や身体障害のある子どもへの摂食嚥下サポート」を中央法規出版より発刊いたしました。

医療的ケア児支援法が施行され、園や学校における医療的ケア児の受け入れ体制の整備が責務となり、現場でも子どもたちに欠かせない毎日の「食」についての悩みは多いと思います。そんな昨今の現状をふまえ、当センターで日頃から行われている摂食嚥下に関する取り組みを各職種が結集しまとめ上げた、まさに「オール島田」で挑んだ力作です。動画（QRコード配信）や図解を多用し、医療職はもちろんの事、保育園、幼稚園等の

保育者や、小中学校・特別支援学校の教員、療育関係者等に最適の1冊です。この機会に是非ご一読ください。
(歯科診療科科長 稲田 穰)



詳細はこちら



全国書店、通販サイト等でお買い求めいただけます。

発行	中央法規出版
ISBN	9784824300737
価格	2,860円(税込)

七夕コンサート

7月7日(日)多摩市にお住いの松本秀子様をお迎えし、音楽コンサートを開催しました。七夕の日のコンサートということもあり、「たなばたさま」をはじめ、ディズニーや日本のドラマから南の島や星空を彷彿とさせる季節の音楽を演奏していただきました。

松本様は今回で3回目のコンサートになりますが、直接利用者様の前で演奏されたのは初めてとなります。いつものように穏やかなコンサートの時間が流れ、観賞している皆様からの歌声と手拍子が響き、会場の



一体感を感じることでできたコンサートでした。

(編集委員 清水 信夫)

第2病棟 大遠足

2 病棟の今年の大遠足はパリ五輪にちなみ、『フランス観光【パリ】&ポッチャ大会を楽しもう』をテーマとして3年振りにご家族を招いての開催となりました。ポッチャとはパラリンピックの競技にもなっているカーリングとビリヤードを合わせたような球技です。

日程及び参加者は第1班が6月18日(火)22名、第2班は6月19日(水)16名が参加され、2病棟の職員だけでなくリハビリや療育部の職員の協力もあり安全につつがなく行うことができました。厚生棟ロビーにはパリの風景写真を貼ってフォトスポットを作り、パリ観光をしているような写真を撮ったり、ポッチャ大会ではご家族も交えて、白熱した試合を行う事ができました。本格的な夏を前に旅行気分になり、楽しいひと時を

過ごすことができました。

(介護福祉士 齊藤 宣洋)



第3病棟東棟 大遠足

6月6日(木)、今年はパルテノン多摩にコンサートを聴きに行きました。活動で作った一人ひとりのチケットを手に、バスに乗ってワクワク出掛けました。演奏して下さったのは、タンゴドラム奏者の「勝見愛様」です。身体に響くような優しい音色の楽器で、「ジブリメドレー」「虹」「ビリーブ」など、皆さんが大好きな曲や学生時代からなじみがある曲をたくさん演奏してくださいました。リラックスして目を閉じる方、反対に目をパッチリ開けて聴き入る方、歌うように声を出される方、身体を動かす方…など、皆さん思い思いに音楽を楽しまれていました。演奏して下さった勝見愛様、一緒にご参加くださったご家族の方々、ありがとうございました。

(療育主任 宮沢 直美)



第7病棟 大遠足

7月2日(火)、7病棟西棟の大遠足を行ないました。今回はCAPP(コンパニオン・アニマル・パートナーシップ・プログラム)の皆さまをお迎えし、『ドッグカフェ』のイメージで5匹の犬たちとの触れ合いを楽しんでいただきました。大型犬から小型犬まで様々な犬たちに触れることが出来ました。穏やかな表情で利用者様と寄り添ってくれたり、しっぽを振ってくれたり、ロープをピョンと飛び越える技をみせてくれたりと、犬たちの愛くるしい姿に利用者様もスタッフもメロメロでした。犬のやわらかな毛並みやあたたかさに触れ、特別な時間を過ごすことが出来ました。最後に皆さんで記念撮影をし、大満足の『ドッグカフェ』体験となりました。

(療育主任 柴田 敦子)



お届けスヌーズレンカー♪

イベント出展報告

島田療育センターはちおうじ（以下、島はち）で開催された『ためしてガッテン！遊・ゆいフェスタ』と『楽しみ会～七夕祭り～』というイベントに、スヌーズレン体験をお届け♪してきました。前者は、6月2日(日)に島はちの八王子市医療的ケア児等コーディネーター事業と八王子在宅重症心身障害児者の会 ゆいっとの合同企画で、57人（当事者・家族 37人/16家族、関係者 20人）のご参加があり、後者は同事業とわかこま相談室の合同企画で、当事者・家族 33人/10家族のご参加と、どちらも大盛況でした。スヌーズレン以外に、様々なお楽しみブースや体験イベントが設けられていて、家族みんなで楽しめる内容が盛りだくさんでした。

スヌーズレンカーチームは、ゆったりくつろぐ「スヌーズレン体験」と、少しアクティブな「オミ・ヴィスタ体験」の2種類のブースを設けました。「スヌーズレン体験」では、多くの方に時間をかけて楽しんでいただくために、車内ではなく、薄暗くした室内にバブルユニットや投影された映像や光を楽しむもの、振動や触った感覚を楽しむもの等を用意しました。お部屋に来てくれたお子さんとそのご家族は、色々なタイプのアイテムからそれぞれお好みの物やご自分なりの楽しみ方を見つけてくださっていました。オミ・ヴィスタは、投影した映像に触れると映像が変化したり音が出

たりする機器ですが、立ったままでも、車イスでも、横になってでも楽しめるので、皆さん夢中になって遊ばれていました。

体験後のアンケートでは、初体験の方から経験者の方までいらっしやる中で、年齢に関係なく好きだった、楽しかった、気持ちが落ち着いた等の良い印象が寄せられ、またやりたい、家族で楽しめたといった感想もいただきました。

また多くの方々にスヌーズレンを体験したり知っていただいたりする機会として、「お届け♪スヌーズレン」活動をしていけたらと思っております。これをきっかけに、多様な感覚に意識を向けていただき、「好き」「心地よい」感覚を見つけて生活の中に活かしていただけたらと思います。

今回イベントを企画運営してくださった方々や、ボランティアの皆様にも感謝いたします。

(社会福祉士 市川 香織)



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？

このコーナーはネットワークしまでで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q

PT訓練ってなにをするの？



A

「体を起こしてあげたいけど頭がグラグラして…」、「一緒に歩きたいけどフラフラしちゃって…」このような運動に関連する相談をよく受けます。多くの育児本には「首が座る」、「寝返る」、「座る」、「ハイハイ」、「つかまり立ち」、「立位」、「歩行」等、運動発達の指標が紹介されています。しかし、お一人おひとりの体の使い方や骨格には個性があるため、それぞれの指標には様々なバリエーションがあることまで書かれたものは少ないです。

最初の相談には「座ると体が右に曲がりやすいから、右の脇の下と左の腰を支えてあげると、左右対称的な姿勢を取りやすそうですね。そうすると少し首のコントロールがしやすくなるかもしれないです。さらにO度位後ろにもたれかかるともう少し楽かもしれません～」訓練では、このようなアドバイスをしながら利用者様の運動の個性を評価させていただき一緒に運動しています。またバギー、車椅子や装具等が必要になった時は、医師や業者と協力し機種を選定から完成までのお手伝いも行っています。

(理学療法士 澁川 真)



第17回

島田療育センター集談会

6月24日(月)に第17回島田療育センター集談会を開催し、口演3題、ポスター7題が発表されました。今回は実に5年ぶりとなる会場での実施となり、当日の会場には50名の職員が足を運びました。会場開催ではありませんが、はちおうじ拠点とはオンラインミーティングで接続しながら発表を行ったり、翌日以降にはオンデマンドでも視聴できるようにしたりとハイブリッドに近い運用となりました。次回は11月、同様の開催方法での実施を予定しています。(編集委員 神田 水太)



島田療育センター全体

防災訓練

6月29日(土)、島田療育センターで全体防災訓練を実施しました。平日の昼間に震度6の地震が発生したという想定で行い、多くの職員が訓練に参加しました。

地震発生時の訓練放送が入ると、災害対策本部が設置され、各部署よりセンター内の利用者様やご家族、職員および建物・設備の被害状況などの報告が集まります。外来では、リハビリや診察で来院されている患者様全員が安全に避難できるよう、複数部署が関わり訓練を行いました。訓練後には、各部署で振り返りを行い、訓練で明らかになった課題について話し合いました。

実際に地震が起こった際に、落ち着いた行動がとれるよう、今後も定期的に訓練を行っていききたいと思います。

(防災危機管理委員 津野 由記子)



お知らせコーナー



家族向け発達支援講座 — 詳細・お申し込みはQRコードから —

講座3

今日からできる！
姿勢を育てるためにできること

日時 9月12日(木)
10:00～11:30
対象 就学前後のお子さんと
もつご家族の方
会場 パルテノン多摩 4F 会議室 3・4



講座4

子どもの見る力を伸ばす ～読み書きが苦手な子どもへのビジョントレーニング～

日時 9月27日(金)
10:00～11:30
対象 年長～小学生のご家族
会場 関戸公民館 第三学習室



講座5

ことばを育てる関わり

日時 10月3日(木)
10:00～11:30
対象 ことばが出る前～3語文程
度の発達段階のお子さんの
保護者
会場 パルテノン多摩 4F 会議室 3・4



島田療育センター

わいわい祭り 2024



日程 2024年9月14日(土)
会場 島田療育センター (外来待合室・訓練室など)
時間 入所利用者 14:00～17:00
地域・一般参加者 14:00～17:30

ホームページにて詳細な内容を掲載しています。
詳しくは以下のページをご参照ください。

島田療育センター わいわい祭り2024



スマートフォンの方はこちらから



季節の彩り

装飾のボランティアの方が夏の装飾を用意してくださいました。南の島を思わせるフラダンス姿の動物達が集まってきました。「かわいい」とおっしゃる言葉の中に作品への愛情を感じています。夏本番、皆様お身体に気をつけてお過ごしください。



発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 **島田療育センター**
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

島田療育センター



ブログ
ほっけ



フェイスブック

